

校長だより

和歌山市立八幡台小学校

2023.7.14

NO, 2 3

～授業レポート～

各クラスの授業風景から、感じたことなどについて述べていきたいと思います。次週木曜日は1学期終業式。学校としてはバタバタとした時期となっておりますが、子どもたちは元気いっぱい！急な雷雨や猛暑にも負けず、動き回っています。

2年生がピアノの練習をしていました。コロナ禍では、こういった楽器の演奏も行うことができず、音楽の楽しさを味わう機会が少なかったと思います。でも、やっと楽しく活動できるようになりました。しっかり練習しようね！



次は毛筆。日本の伝統文化の一つですね。和歌山には「**天石 東村**（あまいし とうそん）」先生という書道家がおり、私は高校時代の書道

の先生から、よくこの先生の名前や功績について聞いた記憶があります。少し紹介しますと

いかにして書を人生に生かすかという、書をとおしての人間形成こそが大切であるという指導理念で生涯を書に尽くした天石東村は大正2年(1913)、現在の和歌山市に生まれた。昭和8年(1933)和歌山師範学校を卒業後、県立和歌山高等女学校教諭、県立桐蔭高等学校教諭、和歌山大学講師、奈良教育大学教授を歴任。和歌山県書道教育連盟を結成し、和歌山県の書道教育を全国屈指の水準に引き上げるとともに、小・中・高校生の書道教科書の執筆にあたるなど書道教育に尽力する一方、日展で特選2回、昭和36年(1961)には日展審査員となり、昭和47年(1972)に日展文部大臣賞を受賞し、書道界において確たる地位を築いた。

とのこと。競書会、市民憲章など、書道教育が盛んな文化は、天石先生の影響が大きいようですね。